

## 東北須金山塊 仙北沢左俣～軍沢川支流

吉岡

【日時】 2009年5月16（土）～17日（日）

【メンバー】L手嶋、古野、鈴木、棚橋、佐貫、吉岡、坂村

5/16の2時頃に道の駅「あら伊達な道の駅」に集合し、軽い宴会の後4時頃就寝、9時過ぎに出発した。仙北林道奥の仙北沢橋まで車で行くつもりだったが、ゲートが施錠されているため、ゲートから仙北林道を歩くこととなった。

地元の人がウドを大量に収穫しているのを見て、本日の山菜の収穫量を皮算用シワクワクするも、出発早々フキを見て「ドクダミです！」と言ってしまい、手嶋さんと鈴木さんに失笑される。

仙北林道沿いにてハリギリやウドを収穫。仙北沢に入ってからウドやウルイ、ホナナ、コシアブラを収穫する。山菜を収穫し、鈴木さんは所々で糸を垂らす。恵みの沢。新緑も美しく、なんて素晴らしい。先頭は佐貫さん。噂に違わず、広範囲にソツなく山菜を見つけ出す。山菜の方から佐貫さんに電波等で存在をアピールしていて、その対象木だけが光って見えるらしい。

沢は比較的緩傾斜が続き、小規模の落差や高さ3mの滝が出現するが、右岸や左岸の斜面沿いを進む。河床はヌメっており、アクアステルスソールの沢靴を履いていたため足を滑らし、淀みにはまる。水に浸かるにはまだ水温は低い。

643m付近の右からの支沢合流後の次の右からの支沢が入る前の左岸側の平場を幕場と決定。付近にはコシアブラが2-3本生えている。夜はコシアブラやハリギリの天ぷらに、チヂミやお浸し等を食べまくる。釣果としては鈴木さんが釣った5匹を塩焼きで食す。春の山の恵みを享受し、至福の時間となる。



夜のうちから雨が降り始めるも出発時は霧雨程度であり、予定通りのルートとする。

仙北沢を遡行していると一面のワサビ畑に遭遇し、一同収穫する。北向斜面である左岸側には雪渓が残っており、所々雪渓上を歩く。高さ3mのナメ滝が現れ、その後もナメが続く。

予定では上部三俣まで進み、948m南稜から鬼首峠に向かうはずであったが、読図を7人全員が誤り、三俣一本手前の左支沢に入ってしまった。本来は進行方向が北であるべきところを南となっていた所で誤りに気付いた。

しかし、気付いた場所は傾斜がある雪渓上であり、降下するのは危険であるため、そのまま進み、939m付近から尾根筋を藪漕ぎして進み、旧道に降り立つ。この旧道沿いにもタラノメがニョキッと存在感をアピールしている。鬼首峠から登山道を進む。高压鉄塔との交差箇所です南西の沢に降りる予定だったが、高压鉄塔が見つからず。しかし、高压鉄塔があった名残なのか、非常に開けた場所があったため、そこから軍沢川支沢に入り、下降する。下りの軍沢川支沢には、2箇所において高い滝があり、一つ目は左岸の森林斜面を登って巻き、二つ目は右岸側の森林斜面を歩く。沢沿いにウルイの収穫に励みつつ下降する。



2日目は雨に降られルートミスもあったが、山菜も収穫でき、満足する山行であった。

【行程】 5/16：道の駅（9：00）～仙北林道入り口（9：45）～仙北沢～幕場（13：00）

5/17：幕場（6：25）～上部三俣手前左俣（8：50）～鬼首峠～鬼首トンネル入り口（12：20）

【地図】 軍沢、鬼首峠

